

# 介護老人保健施設フォレスト熊本 通所リハビリテーションのご紹介



介護老人保健施設 フォレスト熊本

熊本市中央区渡鹿 5 丁目 1-37

電話:096-363-0101 FAX:096-363-3363

E-mail:forest@kyouninkai.jp

<http://www.kyouninkai.jp/forest/>

人生 100 年時代、フォレスト熊本には毎日多くの方々が、健やかな毎日をより楽しく、目標ややりがいを持ってご利用されています。



当施設では、日常生活の支援(食事・排泄・入浴 等)・リハビリテーション・入浴サービスを中心に様々なプログラムを提供させて頂いております。在宅生活を送られる中で、お困りごとがありましたら何でもご相談ください。

通所送迎範囲 : 大江・渡鹿・黒髪を中心に毎日 10 台以上の送迎車でお迎えに伺います。ご利用曜日や時間、送迎エリアなど何でもお尋ね下さい。

★「100 歳は過ぎたけど・・・」最初のご主人が利用されていて、毎回元気に送り出されていました。その後、今度はご自身が利用され、今では週に 4 日欠かさず朝 1 番で迎えの車を待っていらっしゃいます。「100 歳は過ぎたけど、なんとか歩けるし、歯も全部自分の歯だもんね。病気は全然しない。」週 4 回のリハビリと食後の歯磨きの際に、看護師が口の中の様子を確認しています。余暇時間には日記を書いて、そして読み返されています。

★「3 階まで階段の上り下り・・・」住み慣れた家から家族と一緒に住むことになりました。住居は 3 階。外出するには毎回 3 階までの階段昇降が必要です。送迎の職員と一緒に 1 歩ずつ声を掛け合いながら「もう 1 段、もう 1 段。やっと着いた。フォレストに行かないなら家から 1 歩も出ない。」

週 4 回のリハビリの後、介護福祉士と一緒にフォレストの階段も上り下りされています。

余暇時間には脳のトレーニングの問題集を正解するまで解かれています。

★「進行性の病と知って・・・」いつもと変わらない毎日で、いつも通り仕事をされていましたが、突如襲った進行性の病。介護認定の結果、当初は要支援 2。進行する病を考えリハビリを開始するも、時間の経過とともに出来ていたことが出来なくなっていった要介護に。

いつも傍で支える奥様と一緒に住み慣れた自宅で生活が続けられるように、担当の理学療法士がリハビリを行う事は勿論、何度もお話をし課題や困っていること共有したり、時にはご自宅に伺って環境を整えたいしています。「出来る事を一緒にやっていきたい。」

週 3 回の体のリハビリと合わせて、言語聴覚士との発語の訓練にも取り組まれています。

余暇時間には集団運動の輪の中で、リズムに合わせて全身を動かされています。

「趣味の話」「生活の話」「病気の話」「物忘れの話」

昔の話も今の話も未来の話も、多くの専門職がたくさんの話を聴かせて頂き、お一人お一人に寄り添ったご提案を行っています。

フォレスト熊本通所リハビリテーション 竹山 貴博